

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩尻の新たなファン創出事業（認知度の向上、地域イメージの浸透）
事業主体 (連絡先)	塩尻市シティプロモーション活動協議会 塩尻市大門七番町3番3号
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1, 889, 565円（うち支援金：1, 511, 000円）

#### 事業内容

本市は第5次総合計画において、「子育て世代に選ばれる地域の創造」を基本戦略に掲げ、人口減少の時代にある中で、2023年の総人口65,000人以上の確保を目標としている。本事業では、実際に塩尻市を訪れる機会を創出し、本市の自然や歴史、文化を認知してもらい、自発的に情報発信をするなどのファンの創出を図る。最終的には、ファンから移住者というフェーズを見込んでいる。

##### ①子育て世代をターゲットとする野外体験ツアー

開催日：8月21日から23日、11月2日から3日

##### ②塩尻市の歴史・文化を深く知るツアー

開催日：2月15日



【塩尻市の歴史・文化を深く知るツアー】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①2回の開催で延べ、市外から80名、市内から40名の親子に参加していただき、市外からの参加者は半数以上が初めて塩尻来たという方で、塩尻の自然等を認知してもらうことができた。

##### ②塩尻市の歴史・文化を深く知るツアー

市内のワイナリーの歴史や文化にフォーカスし、県内外から28名（申込73名）に参加していただいた。事業終了に SNS など自発的に情報発信をする参加者も見受けられた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

①と②のいずれにおいても、今回の経験を踏まえ、事業の規模を拡大し、実施をしていきたい。具体的には、①は市内外の多様なステークホルダー（子育てサークルなど）と連携して実施していき、情報発信を子育てメディア（月刊イクジィなど）の媒体を活用した実施を考えている。②は、塩尻だけではなく、松本市や安曇野市と連携し、規模を拡大した3市での合同のツアーを考えている。また、いずれの事業も、終了後に参加者とコミュニケーション（メルマガなど）をとり、本市で行っている事業の紹介等を行い、本市との関係性を構築及び継続し、コアなファンの創出をしていきたい。（ファンから移住に繋がるタイミングがあると仮定しています）

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

#### 【目標・ねらい】

- ①子育て世代をターゲットとした本市の認知向上
- ②市内外の参加者問わず、本市に対する認知の向上と愛着の醸成

#### ※自己評価 【B】

##### 【理由】

- ・当初予定した人数の参加を見込むことができた。
- ・事業終了後も関わりたいという参加者がいる。